東海第二原発は北 10km の東海村にある。40 年を過ぎた老朽、2011 年の大震災被災のオンボロ。30km 以内に 94 万人が住む。

ニュース **さよなら原発** 第 93 号（HP版）2021. 1. 4 発行

さよなら原発ひたちなか市実行委員会
連絡先：ひたちなか市馬渡 2824-63　佐藤　英一　TEL：029-273-4775
ホームページ：　http://sayonaragennpatu.wixsite.com/mysite　バックナンバーも掲載

東海第二原発の使用済み燃料充分に冷却済み 5キロ圏外は避難計画 不要にできる

東海第二原発で使った燃料は原子炉建屋内のプールで十分に冷えています。**会社（日本原電）が廃炉の方針を示し国に認められれば、**５キロ圏外は避難計画がいらなくなります。５キロ圏内の長砂（ひたちなか市）や本米崎（那珂市）では当座は必要ですが、プールの使用済み燃料を空冷の乾式容器に移し終えると不要になります。　詳しくは、原子力規制委員会の原子力災害対策指針をみてください。

この制度･仕組みを話題にし、市長や議員につなげていきましょう。
今年は、腕の見せどころです。

旧日本原子力研究開発機構（動燃）は 東海再処理施設の原子力災害時、津波の遡上で 久慈川、新川や那珂川の 通行止め を想定

複合災害（地震・津波）の時、日立や水戸住まいの職員は現場に駆けつけられないとしています。

ひたちなか市民が圏外に脱出できないことを意味します。

同研究開発機構「事故対処の有効性評価について」（2020. 11. 19）より

古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！
◇原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。
子どもたちに、安全な未来を
◇原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことこそ重要です。

2019‥2020‥2021‥‥（原電の予定）‥‥2022年･12月‥‥‥‥‥

原電社長 再稼働表明

再稼働工事を強行

～この頃～ 県と6市村に事前了解を要求

避難計画作成は、もっともっと時間がかかる。

工事完了 → 使用前検査合格 ＊使用前5号検査 → 営業運転

＊）核分裂で放射能が発生

原電が　30 キロ圏市町村での状況説明会（11 月）で、参加者の質問に対し

「1 市村でも反対ならば、再稼働しない」の再確認を拒否！ !!

原電の村松社長は新安全協定交渉の中で*、5 市 1 村に対して次の通り約束しています。
不都合な約束は隠したいのでしょうが、信頼を失うだけです。　　*調印は 2018 年 3 月

- 「（事前了解とは）最終的に納得するまで協議を継続し、協議が終わらなければ再稼働しない意味である」　（2017 年 11 月 22 日原子力所在地域首長懇のひたちなか市公文書）
- 「自治体の合意を得るまでは再稼働できない覚悟だ」　（2017 年 3 月同懇会の那珂市公文書）

山田東海村長

「（6市村は）1市村でも反対の場合は、先に進めないことを改めて確認」
（2019 年 2 月 28 日発言）

大井川知事

「避難計画作成はもっともっと時間がかかる」
「避難計画が無い段階で再稼働の決定はない」
（1 行目は昨年 6 月 24 日、2 行目は 12 月 10 日発言）

原発なくすのに、保守も革新も、与党も野党も関係ない。
（小泉元首相　水戸・日立講演）

政権党は　なぜ地元の意を汲まない！

報道によれば

①菅政権の再稼動＝梶山弘志経済産業大臣「再稼働に全精力傾注」方針

②自民党本部「2050 年カーボンニュートラル実現推進本部」（11 月設置）で原発の新増設や建て替え意見続出

③県議会の自・公・県民等による「原子力政策研究会」が発足（10 月）
（会長に海野透県議（ひたちなか市・自民）、幹事長に下路健次郎県議（東海村・自民））

ひたちなか市民の　東海第二原発への声 声 声

放射線測定ボランテア　正治さん

原電の状況説明会で、内部に原子炉があり、そこから出た放射能を封じ込める役割を持つ原子炉格納容器のサイズを質問した。

しかし、発電所の副所長や運転経験者等が 5 人もいたのに誰一人答えられなかった。初歩の質問なのだが・・・・

70 代男性　東石川

私は原発関係の仕事をしてきたが、廃炉にするには、原発を造るときの 2 倍も 3 倍も時間が必要だ。東海の原発は古くて危険なので廃炉にすべきだと思う。

元気な“那珂市民の会”

那珂市の市民の会は昨年 2 月、市議会に「東海第二再稼働反対」の陳情を提出し、各議員に訴えた結果、17 人中 5 人が賛成。

8 月には、各市議に県民投票条例案が県議会で否決された件を問うと、「県議選挙で再稼働について語らず、議会でも議論せず、多くの県民が求めた案をなぜ否決したのか」「無関心派への啓蒙、反対派と賛成派との議論を重ね、県民に問うことが重要」「議員の勉強会の時間が必要」と 7 市議から回答があったそうです。活発ですね。

ニュースの配り手と募金のお願い

ご協力者に感謝します。今後さらにお願いします。最寄りの会員または 1 面上部の連絡先（佐藤）に連絡を。詳しくはその際に。